作成日：2008.6.24
改訂日：2013.05.16

# 製品安全データシート

## 1【製品及び会社情報】

| | |
|---|---|
| 製品の名称 | ：コスミック・プライマー　Ｐ |
| 推奨用途及び使用上の制限 | ：建築用塗料、業務用 |
| 会社名 | ：株式会社ダイフレックス |
| 住所 | ：東京都新宿区西新宿２－４－１　新宿ＮＳビル２５Ｆ |
| 電話番号 | ：０３－５３８１－０８８１ |
| 輸送時の緊急連絡先 | ：コスミック事業部　０３－５３２１－９７６１ |

## 2【危険有害性の要約】

ＧＨＳ分類

**物理化学的危険性**　：引火性液体：区分２

**健康に対する有害性**　：急性毒性経口：区分外
急性毒性経皮：区分外
急性毒性吸入（ガス）：分類対象外
急性毒性吸入（蒸気）：区分３
急性毒性吸入（粉塵およびミスト）：分類できない
皮膚腐食性/刺激性：区分 2
眼に対する重篤な損傷性/刺激性：区分２
皮膚感作性：区分外
呼吸器感作性：区分外
生殖細胞変異原性：区分外
発がん性：区分外
生殖毒性：区分１
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)：区分１
特定標的臓器/全身毒性（反復暴露）：区分１
吸引性呼吸器有害性：区分外

**環境に対する有害性**　：水生環境急性有害性：区分２
水生環境長期有害性：区分３

ＧＨＳラベル要素

**絵表示**

**注意喚起語**　：危険

**危険有害性情報**　：・引火性の高い液体及び蒸気
・飲み込むと有害のおそれ
・重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
・アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
・吸入すると有害
・吸入するとアレルギー、喘息又は、呼吸困難を起こすおそれ
・発がんのおそれの疑い
・生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
・臓器の障害
・長期又は反復暴露による臓器の障害
・水生生物に毒性
・長期的影響により水生生物に毒性

**注意書き**

**予防策**
- 使用前に取扱説明書及び製品のラベルを読み、すべての安全注意を理解するまで取り扱わないこと。
- 換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。
- 保護手袋、保護メガネ、保護帽、保護衣、安全靴など個人用保護具を使用すること。
- 容器は密閉して直射日光を避け、涼しい換気の良いところに施錠して保管すること。
- 熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。
- 環境への放出を避けること
- 工具は防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。
- 静電気放電に対する予防措置を講ずること。火花を発生しない工具を使用すること。
- この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- 取扱い後はよく手を洗うこと。
- 屋外または換気の良い場所でのみ使用し、粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
- 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

**応急処置**
- **皮膚(または髪)に付着した場合**
  直ちに、取り除くこと。皮膚を多量の水と石鹸で洗うこと。
  流水、シャワーで洗うこと。
  皮膚刺激又は発疹が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
- **着衣に付着した場合**
  汚染された衣類をすべて脱ぐこと。
- **暴露または暴露の懸念がある、または気分が悪い場合**
  医師に連絡し医師の診断、手当を受けること。
- **飲み込んだ場合**
  直ちに医師に連絡すること。
  口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
- **眼に入った場合**
  水で数分間注意深く洗うこと。
  コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。またその後も洗浄を続けること。
  眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
- **吸入した場合**
  呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- **漏出した場合**
  漏洩物を回収すること。

**保管**
- 施錠して保管すること
- 直射日光を避け、涼しい所、換気の良い場所で保管すること。

**廃棄**
- 内容物や容器は、関係法令、地方自治体の規制等に従って廃棄すること。

**ＧＨＳ分類に該当しない他の危険有害性**

**有害性** ：知見なし
**環境影響** ：知見なし
**物理的及び化学的危険性** ：強い引火性がある。熱、火花及び、火炎で着火することがある。
**重要な徴候** ：特になし
**想定される非常事態の概要** ：特になし
**国/地域情報** ：引火性液体

## 3【組成及び成分情報】

**単一製品・混合物の区別** ：混合物
**化学名又は一般名** ：ウレタン樹脂塗料

**成分濃度又は濃度範囲**：

| 化学名　または　一般名 | 濃度又は濃度範囲 (wt%) | CAS 番号 | 化審法 官報公示整理番号 |
|---|---|---|---|
| トルエン | 49% | 108-88-3 | ― |
| 酢酸エチル | 15～25% | 141-78-6 | ― |
| メチル-1,3-フェニレン＝ジイソシアネート | 1%未満 | 26471-62-5 | ― |

**法規制対象成分**：

| 成　　分 | 安　衛　法 | ＰＲＴＲ法 |
|---|---|---|
| トルエン | 表示対象物／通知対象物 | 第一種指定化学物質第 227 号 |
| 酢酸エチル | 表示対象物／通知対象物 | 指定化学物質に該当しない |
| メチル-1,3-フェニレン＝ジイソシアネート | 通知対象物 | 指定化学物質に該当しない |

**ＧＨＳ分類に寄与する不純物及び安定化添加物**：特になし

## ４【応急措置】

**吸入した場合**

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で暖かくして休息させる。
直ちに医師に連絡し、医師の手当て、診断を受ける。
呼吸していて嘔吐がある場合は、頭を横向きにし、嘔吐物を飲み込ませないようにする。
呼吸が弱かったり止っている場合、衣類をゆるめ呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。

**皮膚に付着した場合**

製品に触れた部分を紙、布等で拭った後、直ちに多量の水または微温湯と石鹸で洗う。溶剤、シンナーは使用しない。
発疹が生じる等外観に変化が見られたり刺激、痛みが続く場合は、速やかに医師の診断／手当てを受ける。
汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。必要であれば切断する。

**目に入った場合**

直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗眼した後、速やかに眼科医の診察を受ける。
洗眼の際、瞼を指でよく開いて、眼球、瞼の隅々まで水がよく行きわたるように洗浄する。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

**飲み込んだ場合**

安静にして直ちに医師の診察、処置を受ける。
無理に吐かせないこと。
被災者に意識がない場合は、口から何も与えてはならない。
必要に応じて人工呼吸や酸素吸入を行う。

## 5【火災時の措置】

**消火剤**

粉末ドライケミカル、泡消火薬剤、炭酸ガス、乾燥砂、大量の噴霧水を用いる。

**使ってはならない消火剤**

消火に棒状水、高圧水を用いてはならない。

**特有の危険有害性**

特になし

**特有の消火方法**

粉末ドライケミカルまたは炭酸ガスで初期消火にあたる。
可燃性のものを周囲から素早く取り除く。
火災が広がった時は大量の噴霧水で冷却、消火する。
着火していない製品容器が移動不可能ならば散水して、延焼・過熱や破裂の防止に努める。

大量の消火水によって野生生物に毒性の流出液を生じさせ又は危険な廃棄物処理の問題が起きる可能性がある。
消火作業は、離れた風上から行う。

**消火を行う者の保護**

燃焼または高温により有毒ガスが生成することがあるので、消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具等適切な保護具を着用する。
手袋、眼鏡等適切な保護具を着用する。

## 6【漏出時の措置】

**人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置**

漏洩現場から関係者以外のものを避難させ、周辺にロープを張るなどして立ち入りを禁止する。管理者に連絡する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫などが皮膚に付着したり蒸気を吸入しないようにする。
呼吸器用保護具（例　空気呼吸器；JIS T 8155、送気式マスク；JIS T 8153）不浸透性の保護衣･保護手袋及び長靴･保護眼鏡等を着用する。
付近の着火源･高温体及び可燃物を素早く取り除く。

**環境に対する注意事項**

出来れば、溝や土手を作って、こぼれた液を堰きとめ、漏出の拡大を防ぐ。こぼれた液や洗浄水を、下水溝、井戸や地表面へ流出、または地下水へ浸透させない。

**回収、中和**

液はポンプで金属容器に回収する。
少量または地表面に拡がった漏出液は、不燃性の吸収材(例　砂、土、珪藻土、バーミキュライト)を覆いかぶせて吸収させ、密閉できる廃棄用金属空容器に回収する。

**封じ込め及び浄化方法･機材**

危険なくできるときは漏洩部をふさぎ、漏洩源の制御に努める。換気をする。地面に拡がって排水口、下水、配水施設への流入を防止する。 大量に漏出している場合は、盛土で囲って流出を防止し、ポンプで金属空容器に回収する。少量または地･水表面に拡がった漏出液は、不燃性の吸収材(例　砂、土、珪藻土、バーミキュライト)を覆いかぶせて吸収させ、密閉できる廃棄用金属空容器に回収する。

**二次災害の防止策**

付近の裸火、熱、スパークなどの着火源を速やかに取り除く。作業に際しては、火花を発生しない安全な工具･ポンプを使用する。

## 7【取扱い及び保管上の注意】

**取扱い**

**技術的対策**

**取扱者の暴露防止**

取扱中は禁煙。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないよう、換気を良くし、適切な保護具を常備・着用する。
過去にアレルギー症状を経験している人は取り扱わないこと。

**火災･爆発の防止**

取扱い中及び蒸気（臭気）がなくなるまでの間、パイロットバーナー、電気の着火源（スパークやニクロム線）その他のすべての着火源を除く。
摩擦、衝撃を与えない。

**局所排気･全体換気**

換気のよい場所でのみ取り扱う。

**注意事項**

加熱してはならない。

**安全取扱い注意事項**

取扱う前にすべての安全注意を読み理解する。
適切、かつ十分な量の個人用保護具を常備する。
機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。

**接触回避**

使用するまで密閉しておく。接触･吸入･飲み込みをしない。取扱い後はよく手を洗う。

**保管**

**保管条件**

**技術的対策**

施錠して保管する。
容器を密閉して保管する。
容器を乾燥した状態で保管する。
容器を換気のよい場所に保管する。

**避けるべき保管条件**

直射日光が当たる場所。
屋根がない場所。
開封状態での保管。
火気、熱源等高温になる場所、およびその隣接した場所。

**混触禁止物質**

消防法で定める混載禁止物質との同一場所保管は禁止。酸化剤並びに酸化性の強い物質との同一場所保管は避ける。

**安全な容器包装材料**

消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。移し変えてはならない。

## 8【暴露防止及び保護措置】

**管理濃度**

トルエン　50ppm　　酢酸エチル　200ppm

**許容濃度**

| | | | |
|---|---|---|---|
| トルエン | 50ppm | TWA | 日本産業衛生学会 |
| トルエン | 180mg/m3 | TWA | 日本産業衛生学会 |
| 酢酸エチル | 400ppm | TWA | ACGIH |
| 酢酸エチル | 1,440mg/m3 | TWA | ACGIH |
| メチル-1,3-フェニレン＝ジイソシアネート | 0.005ppm | TWA | ACGIH |
| メチル-1,3-フェニレン＝ジイソシアネート | 0.036mg/m3 | TWA | ACGIH |

**保護具**

**呼吸器の保護具**

施設上の技術的な対策では完全に達成できない場合は、適切な個人保護具の装着を義務付けなければならない。
呼吸用保護具（例　空気呼吸器；JIS T 8155、送気式マスク；JIS T 8153）

**手の保護具**

保護手袋を着用する。
有機溶剤･化学薬品不浸透性の保護衣･保護手袋
着用すべき手袋の材質 ： 不浸透性の耐油性手袋（アクリロニトリル系、ブチルゴム、ネオプレン）

**目の保護具**

耐薬品性のゴーグルとフェイス･シールドの着用。眼の保護用の例として、耐薬品性ゴーグル、また飛散の危険性が高い場合は顔面全体を覆うフェイス･シールドと耐薬品性ゴーグルの併用。コンタクトレンズの装着は禁止。

**皮膚及び身体の保護具**

カバーオールや実験衣のような保護衣を着用する。手袋は耐薬品性･耐油性のものを使用する。多量を取り扱う場合は、不浸透性の防護衣、安全帽、保護長靴、保護前掛けを着用する。

**適切な衛生対策**

この製品を使用するときは、飲食または喫煙をしてはならない。
取扱い後は手をよく洗い、うがいをしてから飲食または喫煙等をする。
汚染した衣類等を再使用する場合は洗濯するか、ドライクリーニングする。

## 9【物理的及び化学的性質】

| | |
|---|---|
| **外観（物理的性状･色）** | ：淡黄色透明液体 |
| **臭い** | ：溶剤臭 |
| **粘度** | ：非公開 |
| **pH** | ：該当しない |
| **融点･凝固点** | ：該当しない |
| **沸点、初留点及び沸騰範囲** | ：製品沸点 77℃。初留点及び沸騰範囲該当しない |
| **引火点** | ：2.1℃ |
| **爆発範囲の上限･下限** | ：上限　11.5vol%　　下限　1.1vol% |
| **蒸気圧** | ：該当しない |
| **蒸気密度** | ：該当しない |
| **比重（相対密度）** | ：製品 1g/cm3 |
| **溶解性** | ：該当しない |
| **n-オクタノール／水分配係数** | ：該当しない |
| **自然発火温度** | ：427℃ |
| **分解温度** | ：該当しない |

## 10【安定性及び反応性】

**安定性**

保管の項目記載の保管条件並びに通常の使用では安定である。

**危険有害反応可能性**

有機物であるため、酸化性物質と接触すると発火、爆発の危険性がある。
強酸、強アルカリと反応するおそれがある。

**避けるべき条件**

高温状態
静電放電
着火源との接触

**混触危険物質**

特になし

**危険有害な分解生成物**

特になし

## 11【有害性情報】

**物理的、化学的及び毒性学的特性に関係した症状**

データなし

**呼吸器感作性又は皮膚感作性**

データなし

**急性毒性**

| | | | |
|---|---|---|---|
| トルエン | 4,800mg/kg | 経口ラット(LD50) | |
| トルエン | 12,000mg/kg | 経皮ラット(LD50) | ACGIH |
| トルエン | 14,100mg/kg | 経皮ラビット(LD50) | EHC |
| トルエン | 18mg/l | 吸入ラット(LC50) | |
| トルエン | 2,600mg/kg | 経口ラット(LD50) | EU-PAR |
| トルエン | 5,500mg/kg | 経口ラット(LD50) | EU-PAR |
| トルエン | 5,580mg/kg | 経口ラット(LD50) | EU-PAR |
| トルエン | 5,900mg/kg | 経口ラット(LD50) | EU-PAR |
| トルエン | 6,400mg/kg | 経口ラット(LD50) | EU-PAR |
| トルエン | 7,000mg/kg | 経口ラット(LD50) | EU-PAR |
| トルエン | 7,530mg/kg | 経口ラット(LD50) | EU-PAR |
| トルエン | 12.5mg/l-4hr | 吸入ラット(LC50) | EU-PAR |
| トルエン | 28.1mg/l-4hr | 吸入ラット(LC50) | EU-PAR |
| トルエン | 28.8mg/l-4hr | 吸入ラット(LC50) | EU-PAR |
| トルエン | 33mg/l-4hr | 吸入ラット(LC50) | EU-PAR |
| トルエン | 4,800ppm | 吸入ラット(LC50) | |
| トルエン | 196,000mg/m3 | 吸入ラット(LC50) | 日本塗料工業会 |
| 酢酸エチル | 5,000以上mg/kg | 経口ラット(LD50) | ACGIH |
| 酢酸エチル | 57.6 | | ACGIH |
| 酢酸エチル | 14,620ppm | | DFGOT |
| 酢酸エチル | 90,000mg/m3 | 吸入マウス(LC50) | 日本塗料工業会 |
| メチル-1,3-フェニレン＝ジイソシアネート | 3,332mg/kg | 経口ラット(LD50) | |
| メチル-1,3-フェニレン＝ジイソシアネート | 7,500mg/kg | 経口ラット(LD50) | CERIハザードデータ集 |
| メチル-1,3-フェニレン＝ジイソシアネート | 5,800mg/kg | 経口ラット(LD50) | NTP |
| メチル-1,3-フェニレン＝ジイソシアネート | 3,060mg/kg | 経口ラット(LD50) | EHC |
| メチル-1,3-フェニレン＝ジイソシアネート | 10,000mg/kg | 経皮ラビット(LD50) | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| メチル-1,3-フェニレン＝ジイソシアネート | 10,210mg/kg | 経皮ラビット(LD50) | CERIハザードデータ集 |
| メチル-1,3-フェニレン＝ジイソシアネート | 19,360mg/kg | 経皮ラビット(LD50) | CERIハザードデータ集 |
| メチル-1,3-フェニレン＝ジイソシアネート | 0.099mg/l-4hr | 吸入ラット(LC50) | CERIハザードデータ集 |
| メチル-1,3-フェニレン＝ジイソシアネート | 0.355mg/l-4hr | 吸入ラット(LC50) | CERIハザードデータ集 |
| メチル-1,3-フェニレン＝ジイソシアネート | 0.34mg/l-4hr | 吸入ラット(LC50) | EHC |
| メチル-1,3-フェニレン＝ジイソシアネート | 0.355mg/l-4hr | 吸入ラット(LC50) | EHC |
| メチル-1,3-フェニレン＝ジイソシアネート | 26ppm/4H | 吸入ラット(LC50) | |
| メチル-1,3-フェニレン＝ジイソシアネート | 10,000mg/kg | 経皮ラビット(LD50) | EHC |
| メチル-1,3-フェニレン＝ジイソシアネート | 26ppm | 吸入ラット(LC50) | 日本塗料工業会 |

**皮膚腐食性・刺激性**
データなし

**眼に対する重篤な損傷・刺激性**
データなし

**変異原性(生殖細胞変異原性)**
データなし

**発がん性**
データなし

**生殖毒性**
データなし

**特定標的臓器・全身毒性－単回暴露**
データなし

**特定標的臓器・全身毒性－反復暴露**
データなし

**吸引性呼吸器有害性**
データなし

## 12【環境影響情報】

**水生環境有害性(急性)：** (区分 2)
**水生環境有害性(慢性)：** (区分 2)
**生態毒性**

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 魚　類： | メチル-1,3-フェニレン＝ジイソシアネート | 0.153mg/l-96hr | LC50（マダイ　96hr） | CERI･NITE有害性評価書 |
| 甲殻類： | トルエン | 3.5mg/l-96hr | ブラウンシュリンプ | EU-PAR |
| | 酢酸エチル | 164mg/l-48hr | ミジンコ | IUCLID |

藻類　：データなし

**残留性・分解性：**
データなし

**生体蓄積性：**
データなし

**土壌中の移動性：**
データなし

**他の有害影響：**製品の漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れ込まないように対処すること。

## 13【廃棄上の注意】

**残余廃棄物の廃棄**

環境への放出を避ける。
残余廃棄物の廃棄は、関係法令、地方自治体の規制等に従って行う。焼却が好ましい方法である。
製品の処分は都道府県知事などの認可を受けた産業廃棄物処理専門業者に成分を明示して委託契約（マニフェスト）を締結のうえ委託し関係法令を遵守して適正に処理すること。

**汚染容器及び包装の廃棄方法**

空容器は製品の残滓が入っているので、製品についての注意事項に従う。毒性の蒸気やガスが発生するので、容器を電気又はガスによる加熱や溶断してはならない。空容器は、業者による洗滌と修理をしないで再利用してはならない。容器を廃棄する場合は、廃棄前に製品の残滓が全て除去されていることを確認する。関係法令、地方自治体の規制等に従って適切な処分を行う。

## 14【輸送上の注意】

| | |
|---|---|
| **国連番号** | ：1263 |
| **品名（国連輸送名）** | ： |
| **国連分類** | ：3.引火性液体 |
| **容器等級** | ：包装等級2 |
| **海洋汚染物質** | ： |
| **安全対策** | ：容器の破損、内容物の漏れがないことを確かめ、転倒、落下、破損の無いように積み込み、荷崩れを防止すること。 |
| **陸上輸送** | ：消防法、労働安全衛生法、毒劇物法、道路法等の輸送について定めるところに従う。 |
| **海上輸送** | ：船舶安全法に定めるところに従う。 |
| **航空輸送** | ：航空法に定めるところに従う。 |
| **応急措置指針番号** | ：128:塗料(引火性) |

## 15【適用法令】

製品：労働安全衛生法施行令別表1－4　引火性のもの
有機溶剤中毒予防規則　第2種有機溶剤
消防法第2条危険物　別表第4類　引火性液体(第1石油類・非水溶性液体)
トルエン：悪臭法令1条
酢酸エチル：悪臭法令1条

## 16【その他の情報】

参考文献:
日本塗料工業会編「ＧＨＳ対応ＭＳＤＳ・ラベル作成ガイドブック」

記載内容の問合せ先　：　株式会社ダイフレックス　技術グループ
TEL:047－436－0811　FAX:047－436－0815

本データシート記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、化学品の含有量、物理化学的性質、危険･有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。
また注意事項は、通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途･用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

以上